

# 人権センターだより

平成29年度

〒698-0036 須子町 3-1

TEL 31-0412

FAX 31-0414

差別をなくす強調月間（7月12日～8月11日）



一人ひとりの人権が尊重される、差別や偏見のない明るい社会の実現のためには、一人ひとり人権問題を自分自身の問題として捉え、自らが、人権が尊重される社会を築き上げる担い手であることを認識し、その実現に主体的に取り組む必要があります。

一人ひとりが命を大切に、お互いに見守り支え合い、優しさと思いやりを持って周囲と接することから始めてみませんか。人と人とのつながり、優しさを持ったつながりを大切にしたいものです。

この「差別をなくす強調月間」中、益田市人権センターロビーにおいて啓発パネル展を開催しています。

## 男女共同参画社会の実現をめざして

男女が、互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会をつくりましょう。

- 政策や方針・計画の決定の場に女性の参画を拡大していきましょう。
- 「家事・育児・介護は女性の仕事」という決めつけはありませんか？家庭での話し合いを大切に、一人ひとりができることから始めましょう。
- 社会を支えているのは私達です。性別にとらわれず、みんなで地域活動に参画し、よりよい社会にしましょう。

## 人権講演会のご案内

演 題 『子どもが生きる力』を守る～子どもの命をど真ん中に、安心と最善の利益を考える～  
講 師 荘保共子さん（大阪市西成区 特定非営利活動法人「こどもの里」理事長）  
開催日時 8月18日（金）9：30～11：00  
開催場所 益田市人権センター（第2会場益田市総合福祉センターにて映像視聴）



障がいの有無や国籍の違いに関わらず、0歳から概ね20歳までの子どもを、約40年にわたり生活支援し続ける一方で、親や大人たちも休息できる場として在り続けてきた。自分自身を大切にすることができれば、他者を大切にすることができる。それを学ぶ手助けを実践している。

## 貸出用人権啓発DVD紹介【最新】

DVD名(収録時間)	ジャンル・内容
もういいかい？ まあだだよ！ (全143分)	「人間らしく生きたい」そんな素朴な願いを、ある日突然奪い去られたハンセン病回復者。その方々の名誉の回復を求める証言をまとめた映像。ハンセン病とは何か。根強い偏見と差別について考えよう。

無料で貸出しますので、人権研修等にご活用ください。

益田市人権センターでは、随時生活相談等を受け付けております。お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。また、年間を通して様々な人権啓発講演会・講座（市民参加型）を計画し、「広報ますだ」・「市ホームページ」にてご案内しています。詳細につきましては問い合わせください。

平成28年12月16日に

# 『部落差別の解消の 推進に関する法律』 施行されました

## 同和問題（部落差別）の解決に向けたこれまでの経緯と課題

国は地方公共団体とともに、昭和44年以来33年間、特別措置法に基づき、地方改善対策を行ってきました。その結果、同和地区の劣悪な環境に対する物的な基盤整備は着実に成果を上げ、一般地区との格差は大きく改善されました。しかしながら、差別発言、差別待遇等の事案や、差別的な内容文書が送付されたりする事案が依然として存在するほか、インターネット上で差別を助長するような内容の書き込みがされるといった事案も発生しています。

また、同和問題の解決を阻む大きな要因として、同和問題を口実にして企業や行政機関等へ不当な圧力をかけ、高額な書籍を売りつけるなどの、いわゆるえせ同和行為も問題となっています。

2016年12月16日に施行された「**部落差別の解消の推進に関する法律**」は、すべての国民に基本的人権の享有を保障する日本国憲法の理念にのっとり、**部落差別のない社会の実現をめざす法律**です。一人ひとりが違いを認め合い、お互いの人権を尊重し合う社会を築いていきましょう。